# 平成25年度 決算説明書/事務事業評価シート

課 名 市民生活課

<b>乳</b> 質	款	項	目	決算書	ŧ
」/ 昇	4	1	2	190	頁

目 名 予防費

事業名称 健康づくり増進事業

#### 1. 概要

業

概 要

一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる 18歳以上の市民 象 的

#### 〇健康増進事業(補助事業)

- ・健康手帳の作成…40歳になられた方、検診をはじめて受けられた方に対し交付
- ・健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導の実施(健康診査…被保護世帯等分、骨そしょう症検診分)

#### 〇がん検診事業

- ・胃がん検診:40歳以上の男女対象
- ・肺がん検診:胸部レントゲン検査(二重読影)、40歳以上の男女対象
- ・大腸がん検診: 便潜血反応2日分検査、40歳以上の男女対象・子宮がん検診: 20歳以上の女性対象
- ・乳がん検診:20歳以上の女性対象

#### 〇女性特有のがん検診事業

- •子宮がん: 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳が対象
- ・乳がん:40歳、45歳、50歳、55歳、60歳が対象

### 〇健康増進事業(その他事業)

健康増進の補助事業対象外の事業(40歳未満の方対象の基本健診等)

<b>施</b> / 経	臨/経 細事業名称 事業内容(主な経費等)				決算額			内訳		評価
			- 中央 寸/	(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	пт іш
経常	健康増進事業(補助事業)	基本健診3,970人 健康手帳509人 肝炎検査96人	委託料	5,723	3,853	1,399			2,454	3
	がん検診等事業	胃がん2,103人 肺がん4,747人 大腸がん2,997人	委託料	47,267	44,442				44,442	2
経常	女性特有のがん検診事 業	子宮がん203人 乳がん309人	委託料	4,969	3,712	1,384			2,328	3
経常	健康増進事業(その他 事業)	特定健診(40歳未 満) 131人	委託料	4,222	894				894	2
		計		62,181	52,901	2,783	0	0	50,118	

### 2. 指標設定

		-									
成 果	指標名	3	受診率の向上	目標	H27	がん対策基本法	こ基づ	指標の設定理由 き国がH19年度からH23	3年度	までの5年間を対象とし	
指 標	数值		50%	年 度	П27		て目標に掲げていたが今回5年が経過し見直しを行った。新たにH28年度まで の5年間を対象にがん対策の推進をはかるため				
活動	指標	а	アンケート実施		b .	広報(市報)	С	電話による勧奨	d		
指 標	数值	目標	年1回	E	標	年1回	目標	-	目標		

### 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 3		H 2 4		H 2 5	
受診率の向上	%	24.1	%	23.2	%	22.7	%
文部卒の向工	90	48.2	%	46.4	%	45.4	%

### 4. 課題と対応

4. 誅題と対心
課題
年々受診率が低下してきている。
対応(改善点等)
若年者の受診率が低いため、はつらつ健診・女性対象のレディース健 診・未受診者健診や未受診者の電話かけ等を行った。

活	活動指標名		H 2 3		H 2 4		H 2 5			
2	a アンケート 実施		1	□	1	□	1	□		
a		実施	実施	実施	ш	100.0	%	100.0	%	100.0
b	広報(市	□	1		1		1			
D	報)	ш	100.0	%	100.0	%	100.0	%		
	電話によ	114	257	件	250	件	379	件		
С	る勧奨	件	1		_		_			
d			-		_		_			
L			-		_		_			

# 5. 事業費・・・H23~H25 (決算額)、H26 (予算現額)

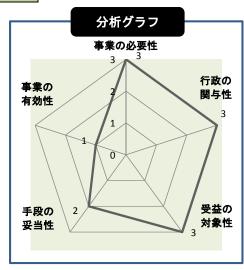
決算額(千円)		H23	H24	H25	H26
		58,686	53,537	52,901	60,144
	うち経常経費	58,556	53,537	52,901	60,144
	国 費	1,401	1,884	1,384	1,049
財	県 費	1,345	1,397	1,399	1,836
源	市債				
内訳	その他	130	35		
八百	一般財源	55,810	50,221	50,118	57,259
	うち経常	55,810	50,221	50,118	57,259
事業費に係る人件費		9,460	18,034	17,522	17,254
事業費に係る人役		2.20	4.20	4.02	3.89

#### 6. H27年度予算の方向性

0. 1127 干皮了并以为内。	_
方向性	
前年並	
理由	
がん死亡は、全死亡の中でも 依然トップの死因であることか ら、引き続き対策を講じる必要 がある。	

# 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	豊後大野市の死因の第1位であるため、がんの死亡率を減少させることが必要。
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	  国のがん対策基本法の中で市の責務が位置づけられている。
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	18歳以上の市民。
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	2	目標達成のため有効な手段と思われる。
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	1	受診率が目標に達していないため。



### 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	受診率の向上に努めること。